



2021年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年3月12日

上場会社名 株式会社 Link-U 上場取引所 東
 コード番号 4446 URL URL <https://www.link-u.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松原 裕樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 志村 優太 TEL 03(6260)9279
 四半期報告書提出予定日 2021年3月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年7月期第2四半期の連結業績 (2020年8月1日～2021年1月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第2四半期	682	—	124	—	117	—	79	—
2020年7月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年7月期第2四半期 82百万円 (—%) 2020年7月期第2四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期第2四半期	5.69	5.58
2020年7月期第2四半期	—	—

(注) 2021年7月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年7月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年7月期第2四半期	2,400	2,104	84.7
2020年7月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2021年7月期第2四半期 2,032百万円 2020年7月期 ー百万円

(注) 2021年7月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年7月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年7月期	—	0.00	—	—	—
2021年7月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年7月期の連結業績予想（2020年8月1日～2021年7月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,486	—	124	—	118	—	80	—	5.72

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 連結業績予想の修正については、本日（2021年3月12日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
 当社は、2021年7月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
 新規 一社（社名）—、除外 一社（社名）—
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
 （注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年7月期2Q	13,973,100株	2020年7月期	13,958,700株
② 期末自己株式数	2021年7月期2Q	30株	2020年7月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年7月期2Q	13,964,472株	2020年7月期2Q	13,593,458株

（注）当社は、2020年1月16日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、「期中平均株式数」を算定しております

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法の適用範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、2021年7月期第1四半期末をみなし取得日としてリベラルマーケティング株式会社を連結子会社化し、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表作成会社に移行いたしました。従いまして、前年同四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表を作成しておりませんので、これらとの比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「世の中の課題を技術で解決する」という経営理念のもと、自社設計のオリジナルサーバーを基軸としたデータ配信と、そのデータを適切に蓄積・分析・処理するAIソリューションを併せてワンストップで提供するサーバープラットフォームビジネスを展開しております。その中で培ったサーバーインフラ技術、データ処理技術及びコンテンツ処理技術等を強みとして、事業規模を拡大してまいりました。

当社グループの事業領域である情報通信産業は、総務省発行の「令和2年版情報通信白書」によると、2018年時点で99.1兆円の市場規模となっており、全産業の9.8%を占めております。また2011年価格をベースとした実質国内生産額では、2000年から年平均成長率0.9%で成長しております。また中でもネット利用状況の変化により、移動体通信サービス契約者の下り総トラフィック量は、2019年6月時点の2,926Gbpsから2020年6月時点で3,525Gbpsと、前期比で約20%増加しました（総務省「我が国の移動通信トラフィックの現状」）。

このような経営環境の中、当社グループは、リカーリングサービス及び初期開発・保守開発サービスにおいて、既存サービスの収益力拡大及び新規サービスのリリースに注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高682,920千円、営業利益124,609千円、経常利益117,834千円、親会社株主に帰属する四半期純利益79,480千円となりました。

なお、当社グループはインターネットサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。サービス別の状況は、次のとおりであります。

(リカーリングサービス)

「リカーリングサービス」は、レベニューシェア収益及び月額固定収益（サブスクリプション）で構成されております。

当第2四半期連結累計期間においては、技術的な改善によるユーザビリティの向上等により収益力拡大に努めました。新規案件としては、株式会社双葉社と「マンガがうがう」をリリースしました。マンガサービスにおけるユーザー数は引き続き増加しておりますが、海賊版サイトの利用者の増加が売上高に影響を与えていると認識しております。また利益拡大余地の低い一部の開発・保守業務から撤退し、エンジニアをマンガサービスの改善と新規サービス開発業務にアサインすることで、今後の収益力拡大に注力しております。

この結果、リカーリングサービスの売上高は622,419千円となりました。

(初期開発・保守開発サービス)

「初期開発・保守開発サービス」は、リカーリングサービス案件獲得のための受託開発を提供するサービスです。取引先の新規サービス立ち上げ時、既存サーバーからの乗り換え時に、当社グループがその後のサービス保守運用も見据えたサーバープラットフォームやアプリケーション等をワンストップで提供します。

当第2四半期連結累計期間においては、持続的な成長に必要な不可欠となってくるリカーリングサービス案件の獲得に努めており、複数のサービスを開発いたしました。

この結果、初期開発・保守開発サービスの売上高は60,500千円となりました。

(その他サービス)

その他サービスは、上記の2サービスに分類されないサービスなどにより構成されております。

その他サービスの売上高は1千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は2,400,650千円となりました。

流動資産は1,545,465千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金1,176,077千円、売掛金265,367千円であります。

固定資産は855,185千円となりました。その主な内訳は、有形固定資産85,904千円、のれん282,661千円、投資有価証券333,625千円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は296,216千円となりました。

流動負債は296,216千円となりました。その主な内訳は、未払法人税等51,645千円、賞与引当金15,841千円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間における純資産合計は2,104,434千円となりました。その主な内訳は、資本金474,361千円、資本剰余金473,361千円、利益剰余金1,084,991千円となります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、1,176,077千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は122,483千円となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上122,070千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果支出した資金は367,493千円となりました。その主な要因は、投資有価証券の取得による支出99,180千円、有形固定資産の取得による支出29,932千円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出220,135千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は12,771千円となりました。その主な要因は、上場関連費用の支出13,267千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月15日に公表した連結業績予想の数値を修正しております。詳細につきましては、本日（2021年3月12日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (2021年1月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,176,077
売掛金	265,367
仕掛品	1,651
貯蔵品	731
その他	103,169
貸倒引当金	△1,532
流動資産合計	1,545,465
固定資産	
有形固定資産	85,904
無形固定資産	
のれん	282,661
その他	2,000
無形固定資産合計	284,661
投資その他の資産	
投資有価証券	333,625
その他	150,994
投資その他の資産合計	484,619
固定資産合計	855,185
資産合計	2,400,650
負債の部	
流動負債	
未払法人税等	51,645
賞与引当金	15,841
移転損失引当金	3,923
その他	224,805
流動負債合計	296,216
負債合計	296,216
純資産の部	
株主資本	
資本金	474,361
資本剰余金	473,361
利益剰余金	1,084,991
自己株式	△75
株主資本合計	2,032,640
非支配株主持分	71,794
純資産合計	2,104,434
負債純資産合計	2,400,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
売上高	682,920
売上原価	257,788
売上総利益	425,131
販売費及び一般管理費	300,521
営業利益	124,609
営業外収益	
受取利息	7
業務受託料	839
その他	205
営業外収益合計	1,052
営業外費用	
為替差損	317
持分法による投資損失	7,509
その他	0
営業外費用合計	7,828
経常利益	117,834
特別利益	
持分変動利益	8,159
特別利益合計	8,159
特別損失	
移転損失引当金繰入額	3,923
特別損失合計	3,923
税金等調整前四半期純利益	122,070
法人税等	39,187
四半期純利益	82,882
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,402
親会社株主に帰属する四半期純利益	79,480

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)
四半期純利益	82,882
四半期包括利益	82,882
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	79,480
非支配株主に係る四半期包括利益	3,402

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2021年1月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	122,070
減価償却費	24,808
のれん償却額	7,247
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△443
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,295
移転損失引当金の増減額 (△は減少)	3,923
持分変動損益 (△は益)	△8,159
受取利息	△7
持分法による投資損益 (△は益)	7,509
売上債権の増減額 (△は増加)	103,073
たな卸資産の増減額 (△は増加)	10,457
前払費用の増減額 (△は増加)	△47,724
未払金の増減額 (△は減少)	6,418
未払費用の増減額 (△は減少)	4,458
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△39,694
その他	△30,894
小計	177,338
利息の受取額	6
法人税等の支払額	△54,861
営業活動によるキャッシュ・フロー	122,483
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△99,180
有形固定資産の取得による支出	△29,932
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△220,135
貸付金の回収による収入	7,600
敷金及び保証金の差入による支出	△13,236
事業譲渡による支出	△12,609
投資活動によるキャッシュ・フロー	△367,493
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	570
自己株式の取得による支出	△75
上場関連費用の支出	△13,267
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,771
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△257,782
現金及び現金同等物の期首残高	1,433,859
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,176,077

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法の適用範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間において、株式取得によりリベラルマーケティング株式会社を子会社化したことに伴い、第1四半期連結会計期間から同社を連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間より、株式会社Hashpaletteの株式の保有比率低下のため、持分法適用の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症には不確定要素が多く、感染症拡大防止の対応期間や影響について先の見通しが困難なところではありますが、感染拡大の影響が少なくとも一定期間続くとの仮定のもと、会計上の見積りを会計処理に反映しております。

そのため、当該仮定と実際の間乖離が生じた場合には当第2四半期連結会計期間以降の当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

当社グループは、インターネットサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。